

適期中干しの励行で生育を調節しましょう！

中干しの効果

- ① 無効茎の発生抑制 → **良質茎の確保！**
※無効茎：穂をつけることなく枯死する茎
- ② 下位節間の伸長を抑制 → **倒伏を軽減！**
- ③ 土壌へ酸素を供給 → **根の健全化！**
- ④ 地盤を固める → **収穫時の機械作業を容易に！**

○中干しの実施時期

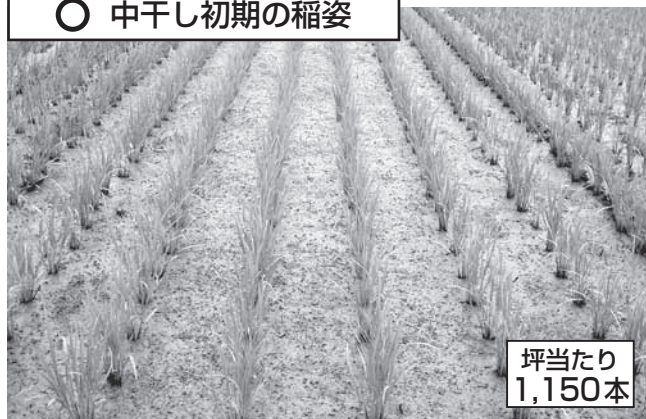
- ・ 茎数が**目標穂数の80%に達した頃**（下記表参照）、又は**田植え約1か月後（30日後）頃**が中干し実施の目安です。本格的な梅雨入り前に開始しましょう。
- ・ 中干しの**終了時期の目安は出穂1ヶ月前（7月10日頃）**です。遅れると根域が縮小するため品質低下につながります。

◎中干し開始後も分けつはすぐに止まりません。早めの開始を心がけましょう。

【中干し適期の茎数（目標穂数の80%）】

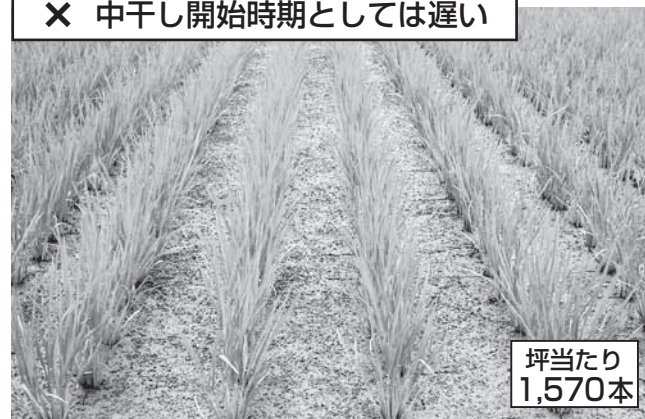
品種	中干し適期 1株当り茎数 (目標の80%)			中干し適期 坪当り茎数	1株当り目標穂数			坪当り 目標穂数
	植え付け株数				植え付け株数			
	43株	50株	60株		43株	50株	60株	
コシヒカリ	23本	20本	17本	1,010本	29本	25本	21本	1,260本
こがねもち	21本	18本	15本	910本	26本	23本	19本	1,140本
五百万石	20本	17本	14本	860本	25本	21本	18本	1,070本

○ 中干し初期の稲姿



坪当たり
1,150本

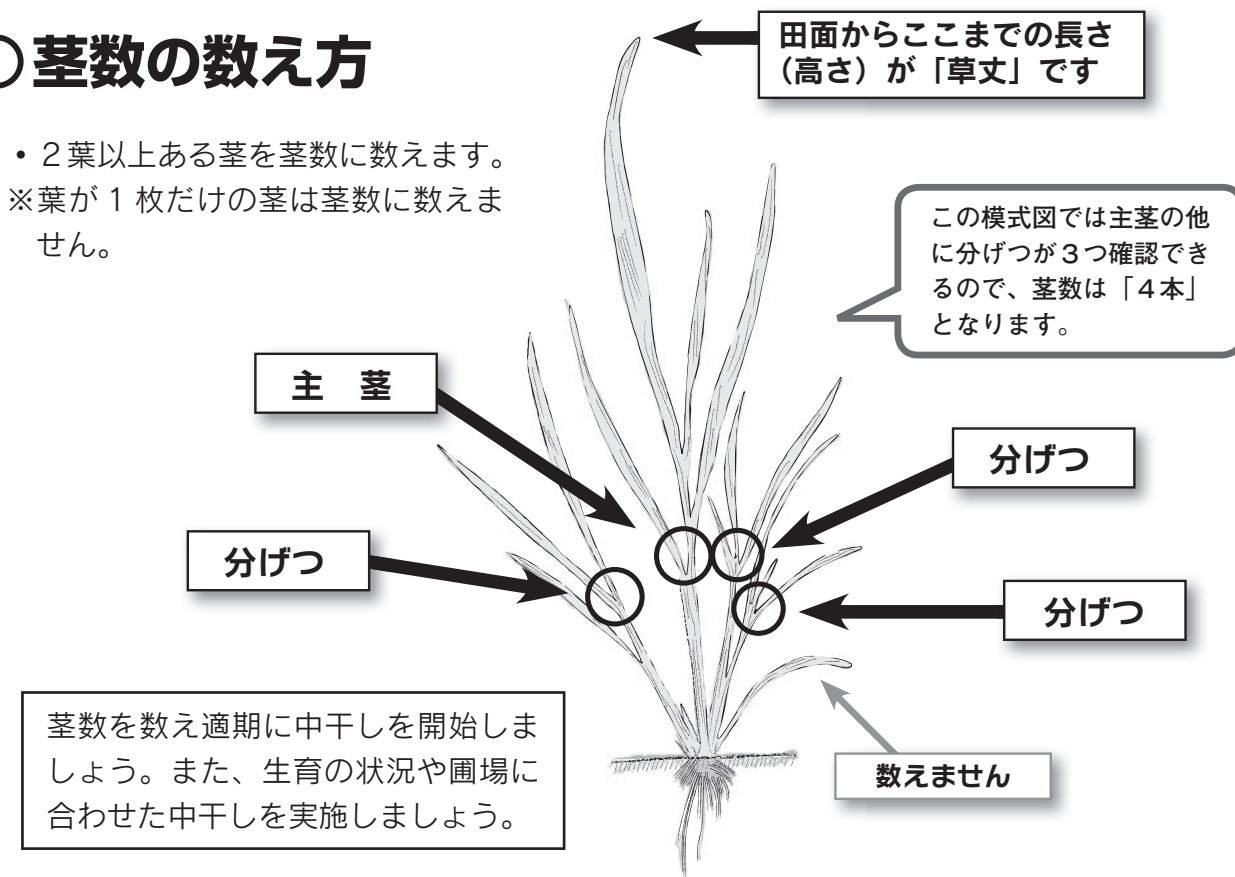
× 中干し開始時期としては遅い



坪当たり
1,570本

○茎数の数え方

- ・ 2葉以上ある茎を茎数に数えます。
※葉が1枚だけの茎は茎数に数えません。



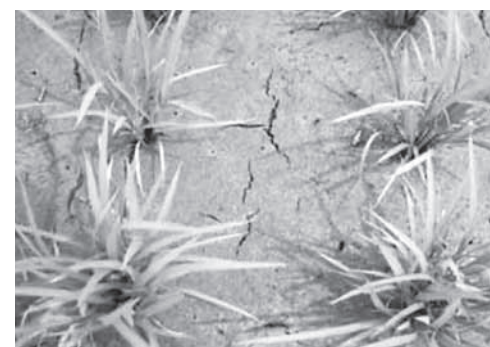
茎数を数え適期中干しを開始しましょう。また、生育の状況や圃場に合わせた中干しを実施しましょう。

○中干しの方法

実施程度は田面に小ヒビ、軽く足跡が残る硬さまで！

- ・ 田面に大ヒビが入る強い中干しは、根が切断される等、悪影響を与えることがあります。
- ・ 中干しが弱いと生育過剰を招き、品質の低下や倒伏につながります。

○ 目安の小ヒビ程度の中干し



× 大ヒビが入る強い中干し



◎圃場の生育状況に合わせた中干しを行いましょう！

- ・ 生育量が過剰気味 → やや強めの中干しを心がけましょう。
- ・ 生育量が不足気味 → やや弱めの中干しを心がけましょう。

中干しを確実にやり、穂肥をまける稲姿に調節しましょう！

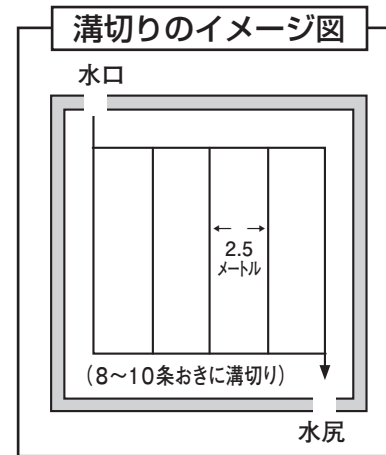
○溝切りで圃場全体に効率よく水を回しましょう！

- 10a 当り 6 ～ 8 本の溝を切りましょう。
※排水の悪い圃場は、溝を多めに入れてください。
- すべての溝を水口・水尻につなげましょう。
※溝と溝がぶつかる場所は、水が通るように手でならしましょう。

ー溝切りの効果ー

- ① フェーンなどの緊急時の**迅速な灌水**を可能に！
- ② 秋の長雨による停滞水の**容易な排水**を可能に！

水は限りある資源です。用水は大切に使い、
かけ流しは絶対に行わないでください。



○いもち病防除

いもち病の箱処理防除を行っていない方は必ず本田防除をお願いします。

ー防除が必要な圃場ー

- コシヒカリ BL 栽培で箱処理防除を行っていない場合
- 直播栽培
- こしいぶき、五百万石、こがねもち等、コシヒカリ BL 以外の品種

【いもち病の本田防除薬剤】

・オリゼメート粒剤

散布量：3 ～ 4kg / 10a 当り
散布時期：6月10日～15日

※オリゼメート粒剤は田植日に関係なく、この時期に散布してください。

施用方法：湛水状態（3 ～ 5cm）で散布。散布後7日間は落水やかけ流しは行わない。

- 補植苗はいもち病の発生源となります。不要になった苗は速やかに圃場外へ除去（苗を裏返しにする等）してください。

携帯メール会員募集!!

無料（通信料は除く）でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします！

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

beikoku@haisin.jp

または、右記 QR コードをご利用ください。➔



ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課（TEL777-3786）までお問い合わせください。

○中間追肥

リン酸・苦土で登熟・食味の向上を！ケイ酸で倒伏軽減・耐病性の向上を！

【主な中間追肥肥料】

肥料名	成分量 (%)	標準施肥量 (10a 当り)	使用時期	使用方法	特徴
魚沼ロマン グルメエース	リン酸：6、苦土：10、ケイ酸：16 マンガン：0.1、ホウ素：0.1 銅・鉄・亜鉛：微量	20 ～ 40kg	6月下旬～ 7月上旬	ごく浅水 散布又は、 湛水散布	リン酸・苦土・ケイ酸に加え、微量要素を多く含むバランスの良いマルチ肥料。
マグコープ	リン酸：17、苦土：3.5	20 ～ 40kg	6月下旬～ 7月上旬		養分や水分の吸収力を高めるリン酸を多く含む。
ケイ酸加里 プレミア 34	カリ：20、苦土：4、ホウ素：0.1 ケイ酸：34	20 ～ 40kg	6月下旬～ 7月上旬		ケイ酸分を豊富に含む。また含まれるカリは緩効性のため効率よく吸収される。

※元肥一発を施用された方も中間追肥を行いましょう！

○除草剤（中期・後期剤）

初期に取りこぼした雑草や後から生えてきた雑草を中期、後期剤で防除しましょう！

品名	成分数	使用量 (10a 当り)	使用時期	使用方法	特徴
ザーベックス DX 1キロ粒剤	4	1kg	移植後20日～30日 ノビエ3.5葉期まで	湛水散布	クリンチャー成分が入ってる低価格剤
ハイカット1キロ粒剤	4	1kg	移植後15日～ノビエ3.5葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布	クログワイに効果大
クリンチャー	粒剤	1kg	移植後7日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで	湛水散布	ヒエのみ有効
		1.5kg	移植後25日～ノビエ5葉期 但し、収穫30日前まで		
	ジャンボ	20個	移植後15日～ノビエ3葉期 但し、収穫40日前まで		
		30個	移植後25日～ノビエ4葉期 但し、収穫40日前まで		
EW	散布薬量：100ml 希釈水量：25～100ℓ		移植後20日～ノビエ6葉期 但し、収穫30日前まで	湛水散布又は落水散布	
	バサグラン	粒剤	3～4kg	移植後15日～55日 但し、収穫60日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布
液剤	散布薬量：500～700ml 希釈水量：70～100ℓ	移植後15～55日 但し、収穫50日前まで			
クリンチャーバス ME液剤	2	散布薬量：1000ml 希釈水量：70～100ℓ	移植後15日～ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	クリンチャー＋バサグランの成分
フルチャージジャンボ	2	10個	移植後7日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	湛水散布	中期の投げ込みジャンボ剤

※使用時期・使用量等、間違いのないよう注意してください。

中干し指導会のご案内

開催日 6月9日(木)、10日(金)

時間 朝6時～、夕方6時30分～

○会場などの詳細は別紙案内をご確認ください。